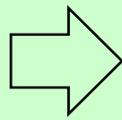


水稲部門の協業化により施設園芸を基幹とした安定的な農業を展開

～ 中古 利一氏(千葉県長生郡白子町) ～

経営体の概要

事業実施前：平成3年度
 基幹作物：トマト(施設)
 経営面積：1,000㎡
 (鉄骨ハウス1棟)



現在：令和元年度
 基幹作物：トマト(施設)
 経営面積：315㎡(パイプハウス2棟)
 5,900㎡(鉄骨ハウス5棟)
 ※水稲5.8ha(営農組合での管理担当分)

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体のほ場は、昭和40年度に完了した前歴事業により農業用水が確保されたものの、用水の末端部に位置するため適期に十分な用水量を確保することに支障を来していたが、平成26年度完了の国営かんがい排水事業等により用水が管路化され、平成16年度から用水が安定供給されたことから、計画的な用水利用が出来るようになってきている。

本経営体は、平成5年度に設立し、平成17年度に法人化した作業受託組織、農事組合法人南白亀営農組合の構成員として担当する水稲の作業計画が立て易くなり、水稲繁忙期とトマト作業が重複しないよう計画的に栽培することでトマト栽培に専念し、トマトの品質等の向上による収益力向上を実現している。

営農改善のポイント

① 栽培技術の確立・向上

国営かんがい排水事業等による用水の安定供給により、計画的な用水利用ができるようになり、水稲作業を計画的に調整することで、トマトの栽培管理作業も計画的な実施が可能となった結果、用水の安定供給が開始された平成16年度頃と比較して可販果率が向上しており、今後、更に品質の高いトマト栽培を目指している。

② 単収・品質の向上

国営かんがい排水事業による用水の安定供給以降、以前よりもトマト栽培に手を掛けられるようになり、現在高品質のトマトを「長生(ながいき)トマト」ブランドとして出荷し有利販売を実現している。
 更なる品質向上のため、現在、JA・種苗メーカーと協力し、品種試験栽培をする等、新たな販売品種の選抜に取り組むとともに、平成26年度からJA長生施設野菜部会の理事、平成28年度から千葉県の指導農業士として地域全体のトマト品質底上げに努めている。

③ 機械・施設の導入・整備

営農組合員として水稲作業を行っている間も、適切にトマトハウス内の管理を行うため、当時はまだ一般的ではなかったハウスの自動化に平成10年頃から着手。現在はハウス内の環境を自動で測定し携帯電話やパソコンでハウスの状況を確認、操作も可能となっている。
 これにより、水稲の受託面積やトマトの栽培面積の拡大、さらに定期的な休日の確保が実現している。



収穫したトマト



トマトの養液栽培

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市：香取市、茂原市、東金市外4市6町1村
 受益面積：17,970ha
 事業期間：平成5年度～平成26年度
 事業目的：用水改良、排水改良
 主要工事：頭首工1カ所、水門1カ所、揚水機場5カ所、
 排水機場1カ所、用水路L=89km、排水路L=6km

位置図(千葉県)



両総地区

<問い合わせ先>

関東農政局
 農村振興部農地整備課
 電話：048-600-0600
 (内線3537)

(令和元年度調査時点)